

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由																																																																																																																																																																				
<p>(2) ディーゼル機関付属設備の代表機器の選定</p> <p>「技術評価」の評価では、評価対象ディーゼル機関付属設備を使用条件等を基に分類しているが、本検討においてもこの分類にしたがって整理するものとし、「技術評価」における代表機器を本検討の代表機器とする。</p> <p>但し、選定された「技術評価」の代表機器より、耐震重要度の上位の機種が存在する場合には、これについても代表機器として評価することとする。</p> <p>ディーゼル機関付属設備の本検討の代表機器を表 3.12.2-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12.2-2 ディーゼル機関付属設備の代表機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機器名称</th> <th colspan="4">選定基準</th> <th rowspan="3">「技術評価」代表機器</th> <th rowspan="3">耐震安全性評価代表機器</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">重要度^{*1}</th> <th colspan="2">使用条件</th> <th rowspan="2">耐震重要度</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備</td> <td>始動空気系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>3.2</td> <td>45</td> <td>S, 重^{*3}</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>潤滑油系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>0.78</td> <td>70</td> <td>S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水系</td> <td rowspan="2">MS-1, 重^{*2}</td> <td>純水 0.25</td> <td>純水 80</td> <td rowspan="2">S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td>海水 0.70</td> <td>海水 50</td> </tr> <tr> <td>燃料油系^{*4}</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>60</td> <td>S, 重^{*3}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備</td> <td>始動空気系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>3.2</td> <td>45</td> <td>S, 重^{*3}</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>潤滑油系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>0.78</td> <td>70</td> <td>S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水系</td> <td rowspan="2">MS-1, 重^{*2}</td> <td>純水 0.25</td> <td>純水 80</td> <td rowspan="2">S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td>海水 0.70</td> <td>海水 50</td> </tr> <tr> <td>燃料油系^{*4}</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>60</td> <td>S, 重^{*3}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備^{*4}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>0.5</td> <td>45</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備^{*4}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>60</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機駆動用燃料設備^{*4,5}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>静水頭^{*6}</td> <td>60^{*6}</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器および構造物であることを示す *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *4: 新規に設置される機器を含む *5: 可搬型重大事故等対処設備 (ディーゼル機関を含む) に可搬型の機器を用いて軽油を供給する設備 *6: 可搬型設備用軽油タンクの仕様を示す</p>	機器名称	選定基準				「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器	重要度 ^{*1}	使用条件		耐震重要度	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]	海水 0.70	海水 50	燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60	S, 重 ^{*3}	高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]	海水 0.70	海水 50	燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60	S, 重 ^{*3}	緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	0.5	45	重 ^{*3}		常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	1.0	60	重 ^{*3}		補機駆動用燃料設備 ^{*4,5}	燃料油系	重 ^{*2}	静水頭 ^{*6}	60 ^{*6}	重 ^{*3}		<p>(2) ディーゼル機関付属設備の代表機器の選定</p> <p>「技術評価」の評価では、評価対象ディーゼル機関付属設備を使用条件等を基に分類しているが、本検討においてもこの分類にしたがって整理するものとし、「技術評価」における代表機器を本検討の代表機器とする。</p> <p>但し、選定された「技術評価」の代表機器より、耐震重要度の上位の機種が存在する場合には、これについても代表機器として評価することとする。</p> <p>ディーゼル機関付属設備の本検討の代表機器を表 3.12.2-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 3.12.2-2 ディーゼル機関付属設備の代表機器</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">機器名称</th> <th colspan="4">選定基準</th> <th rowspan="3">「技術評価」代表機器</th> <th rowspan="3">耐震安全性評価代表機器</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">重要度^{*1}</th> <th colspan="2">使用条件</th> <th rowspan="2">耐震重要度</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備</td> <td>始動空気系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>3.2</td> <td>45</td> <td>S, 重^{*3}</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>潤滑油系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>0.78</td> <td>70</td> <td>S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水系</td> <td rowspan="2">MS-1, 重^{*2}</td> <td>純水 0.25</td> <td>純水 80</td> <td rowspan="2">S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td>海水 0.70</td> <td>海水 50</td> </tr> <tr> <td>燃料油系^{*4}</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>55</td> <td>S, 重^{*3}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備</td> <td>始動空気系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>3.2</td> <td>45</td> <td>S, 重^{*3}</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>潤滑油系</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>0.78</td> <td>70</td> <td>S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷却水系</td> <td rowspan="2">MS-1, 重^{*2}</td> <td>純水 0.25</td> <td>純水 80</td> <td rowspan="2">S, 重[*]</td> </tr> <tr> <td>海水 0.70</td> <td>海水 50</td> </tr> <tr> <td>燃料油系^{*4}</td> <td>MS-1, 重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>55</td> <td>S, 重^{*3}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備^{*4}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>0.5</td> <td>45</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備^{*4}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>1.0</td> <td>55</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機駆動用燃料設備^{*4,5}</td> <td>燃料油系</td> <td>重^{*2}</td> <td>静水頭^{*6}</td> <td>60^{*6}</td> <td>重^{*3}</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器および構造物であることを示す *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *4: 新規に設置される機器を含む *5: 可搬型重大事故等対処設備 (ディーゼル機関を含む) に可搬型の機器を用いて軽油を供給する設備 *6: 可搬型設備用軽油タンクの仕様を示す</p>	機器名称	選定基準				「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器	重要度 ^{*1}	使用条件		耐震重要度	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]	海水 0.70	海水 50	燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55	S, 重 ^{*3}	高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]	海水 0.70	海水 50	燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55	S, 重 ^{*3}	緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	0.5	45	重 ^{*3}		常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	1.0	55	重 ^{*3}		補機駆動用燃料設備 ^{*4,5}	燃料油系	重 ^{*2}	静水頭 ^{*6}	60 ^{*6}	重 ^{*3}		<p>別紙 42 耐震安全性評価 機械設備</p> <p style="text-align: center;">①仕様等の変更の反映 設計進捗による燃料油 系の最高使用温度が変 更</p>
機器名称		選定基準							「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器																																																																																																																																																												
		重要度 ^{*1}	使用条件		耐震重要度																																																																																																																																																																	
	最高使用圧力 (MPa)		最高使用温度 (°C)																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○																																																																																																																																																																
	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
			海水 0.70	海水 50																																																																																																																																																																		
燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60	S, 重 ^{*3}																																																																																																																																																																		
高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○																																																																																																																																																																
	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
			海水 0.70	海水 50																																																																																																																																																																		
燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60	S, 重 ^{*3}																																																																																																																																																																		
緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	0.5	45	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	
常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	1.0	60	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	
補機駆動用燃料設備 ^{*4,5}	燃料油系	重 ^{*2}	静水頭 ^{*6}	60 ^{*6}	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	
機器名称	選定基準				「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器																																																																																																																																																																
	重要度 ^{*1}	使用条件		耐震重要度																																																																																																																																																																		
		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○																																																																																																																																																																
	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
			海水 0.70	海水 50																																																																																																																																																																		
燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55	S, 重 ^{*3}																																																																																																																																																																		
高圧炉心スプレィ系ディーゼル機関付属設備	始動空気系	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	S, 重 ^{*3}	○																																																																																																																																																																
	潤滑油系	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
	冷却水系	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80	S, 重 [*]																																																																																																																																																																	
			海水 0.70	海水 50																																																																																																																																																																		
燃料油系 ^{*4}	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55	S, 重 ^{*3}																																																																																																																																																																		
緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	0.5	45	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	
常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*4}	燃料油系	重 ^{*2}	1.0	55	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	
補機駆動用燃料設備 ^{*4,5}	燃料油系	重 ^{*2}	静水頭 ^{*6}	60 ^{*6}	重 ^{*3}																																																																																																																																																																	

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由																																																																																																												
<p>3.14 電源設備</p> <p>本章は、東海第二で使用している主要な電源設備に係わる経年劣化事象について、耐震安全性評価をまとめたものである。</p> <p>なお、東海第二の主要機器については、既に「技術評価」において経年劣化事象に対する健全性評価を行うとともに、現状保全の評価を実施しているため、本章においてはこれら検討結果を前提条件とし、評価を実施することとする。</p> <p>3.14.1 評価対象機器</p> <p>東海第二で使用している主要な電源設備（「技術評価」の評価対象機器）を評価対象機器とする。</p> <p>なお、評価対象機器一覧を表 3.14-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14-1(1/2) 評価対象機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 50%;">機器名称</th> <th style="width: 30%;">耐震重要度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">高圧閉鎖配電盤</td> <td>非常用 M/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置遮断器盤</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 M/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 M/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動力用変圧器</td> <td>非常用動力用変圧器 (2C, 2D)</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用動力用変圧器 (HPCS)</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用動力変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用動力変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">低圧閉鎖配電盤</td> <td>非常用 P/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 P/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 P/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 直流 P/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>計測用 P/C</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コントロールセンタ</td> <td>480 V 非常用 MCC</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 直流 MCC</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用直流 125 V MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ディーゼル発電設備</td> <td>非常用ディーゼル発電設備</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用発電設備^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*1: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *2: 新規に設置される機器</p> <p style="text-align: center;">- 3.14-1 -</p>	種類	機器名称	耐震重要度	高圧閉鎖配電盤	非常用 M/C	S, 重 ^{*1}	常設代替高圧電源装置遮断器盤	重^{*1}	緊急用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}	動力用変圧器	非常用動力用変圧器 (2C, 2D)	S, 重 ^{*1}	非常用動力用変圧器 (HPCS)	S, 重 ^{*1}	緊急用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	低圧閉鎖配電盤	非常用 P/C	S, 重 ^{*1}	緊急用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}	125 V 直流 P/C	S, 重 ^{*1}	計測用 P/C	S	コントロールセンタ	480 V 非常用 MCC	S, 重 ^{*1}	緊急用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}	125 V 直流 MCC	S, 重 ^{*1}	緊急用直流 125 V MCC ^{*2}	重 ^{*1}	ディーゼル発電設備	非常用ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}	常設代替高圧電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用発電設備 ^{*2}	重 ^{*1}	<p>3.14 電源設備</p> <p>本章は、東海第二で使用している主要な電源設備に係わる経年劣化事象について、耐震安全性評価をまとめたものである。</p> <p>なお、東海第二の主要機器については、既に「技術評価」において経年劣化事象に対する健全性評価を行うとともに、現状保全の評価を実施しているため、本章においてはこれら検討結果を前提条件とし、評価を実施することとする。</p> <p>3.14.1 評価対象機器</p> <p>東海第二で使用している主要な電源設備（「技術評価」の評価対象機器）を評価対象機器とする。</p> <p>なお、評価対象機器一覧を表 3.14-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 3.14-1(1/2) 評価対象機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 50%;">機器名称</th> <th style="width: 30%;">耐震重要度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">高圧閉鎖配電盤</td> <td>非常用 M/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環ポンプ遮断器</td> <td>C, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉再循環ポンプ低速用電源装置遮断器</td> <td>C, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置遮断器盤</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 M/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 M/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">動力用変圧器</td> <td>非常用動力用変圧器 (2C, 2D)</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用動力用変圧器 (HPCS)</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用動力変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用動力変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">低圧閉鎖配電盤</td> <td>非常用 P/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 P/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 P/C^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 直流 P/C</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>計測用 P/C</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">コントロールセンタ</td> <td>480 V 非常用 MCC</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用 MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 直流 MCC</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用直流 125 V MCC^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">ディーゼル発電設備</td> <td>非常用ディーゼル発電設備</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>常設代替高圧電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策所用発電設備^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*1: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *2: 新規に設置される機器</p> <p style="text-align: center;">- 3.14-1 -</p>	種類	機器名称	耐震重要度	高圧閉鎖配電盤	非常用 M/C	S, 重 ^{*1}	原子炉再循環ポンプ遮断器	C, 重 ^{*1}	原子炉再循環ポンプ低速用電源装置遮断器	C, 重 ^{*1}	常設代替高圧電源装置遮断器盤	重 ^{*1}	緊急用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}	動力用変圧器	非常用動力用変圧器 (2C, 2D)	S, 重 ^{*1}	非常用動力用変圧器 (HPCS)	S, 重 ^{*1}	緊急用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	低圧閉鎖配電盤	非常用 P/C	S, 重 ^{*1}	緊急用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}	125 V 直流 P/C	S, 重 ^{*1}	計測用 P/C	S	コントロールセンタ	480 V 非常用 MCC	S, 重 ^{*1}	緊急用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}	125 V 直流 MCC	S, 重 ^{*1}	緊急用直流 125 V MCC ^{*2}	重 ^{*1}	ディーゼル発電設備	非常用ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}	常設代替高圧電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策所用発電設備 ^{*2}	重 ^{*1}	<p>別紙 43 耐震安全性評価 電源設備</p> <p style="margin-top: 200px;">②評価対象機器の追加 クラス 3 設備が常設重大事故等対処設備となったため評価対象機器として追加し、耐震重要度を記載</p>
種類	機器名称	耐震重要度																																																																																																												
高圧閉鎖配電盤	非常用 M/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	常設代替高圧電源装置遮断器盤	重^{*1}																																																																																																												
	緊急用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
動力用変圧器	非常用動力用変圧器 (2C, 2D)	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	非常用動力用変圧器 (HPCS)	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
低圧閉鎖配電盤	非常用 P/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	125 V 直流 P/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	計測用 P/C	S																																																																																																												
コントロールセンタ	480 V 非常用 MCC	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	125 V 直流 MCC	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用直流 125 V MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
ディーゼル発電設備	非常用ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	常設代替高圧電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用発電設備 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
種類	機器名称	耐震重要度																																																																																																												
高圧閉鎖配電盤	非常用 M/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	原子炉再循環ポンプ遮断器	C, 重 ^{*1}																																																																																																												
	原子炉再循環ポンプ低速用電源装置遮断器	C, 重 ^{*1}																																																																																																												
	常設代替高圧電源装置遮断器盤	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 M/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
動力用変圧器	非常用動力用変圧器 (2C, 2D)	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	非常用動力用変圧器 (HPCS)	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用動力変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
低圧閉鎖配電盤	非常用 P/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 P/C ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	125 V 直流 P/C	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	計測用 P/C	S																																																																																																												
コントロールセンタ	480 V 非常用 MCC	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用 MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	125 V 直流 MCC	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急用直流 125 V MCC ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
ディーゼル発電設備	非常用ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備	S, 重 ^{*1}																																																																																																												
	常設代替高圧電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												
	緊急時対策所用発電設備 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																												

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由																																																																																																																																																											
<p>表 3.14-1(2/2) 評価対象機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 60%;">機器名称</th> <th style="width: 20%;">耐震重要度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MG セット</td> <td>原子炉保護系 MG セット</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">無停電電源装置</td> <td>バイタル電源用無停電電源装置</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>緊急用無停電電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用無停電電源装置^{*2}</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用無停電電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">直流電源設備</td> <td>125 V 蓄電池 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 蓄電池 HPCS</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 125 V 蓄電池^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用蓄電池^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>±24 V 蓄電池 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用 24 V 系蓄電池</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 2A</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 予備</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 HPCS</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 125 V 充電器盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用充電器盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>±24 V 充電器盤 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用直流 24 V 充電器盤</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="11">計測用分電盤</td> <td>交流計測用分電盤 A 系, B 系</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>交流計測用分電盤 HPCS 系</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>直流分電盤</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>バイタル分電盤</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>中性子モニタ用分電盤</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用計装交流主母線盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用直流分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用無停電計装分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用無停電計装分電盤^{*2}</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用直流分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed red;">計測用変圧器</td> <td style="border: 1px dashed red;">S</td> <td style="border: 1px dashed red;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計測用変圧器</td> <td>原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>緊急用計測用変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*1: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *2: 新規に設置される機器</p>	種類	機器名称	耐震重要度	MG セット	原子炉保護系 MG セット	S	無停電電源装置	バイタル電源用無停電電源装置	S	緊急用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	非常用無停電電源装置 ^{*2}	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	直流電源設備	125 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	125 V 蓄電池 HPCS	S, 重 ^{*1}	緊急用 125 V 蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}	±24 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用 24 V 系蓄電池	重 ^{*1}	125 V 充電器盤 2A	S, 重 ^{*1}	125 V 充電器盤 2B	S, 重 ^{*1}	125 V 充電器盤 予備	重 ^{*1}	125 V 充電器盤 HPCS	S, 重 ^{*1}	緊急用 125 V 充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}	±24 V 充電器盤 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用直流 24 V 充電器盤	重 ^{*1}	計測用分電盤	交流計測用分電盤 A 系, B 系	S	交流計測用分電盤 HPCS 系	S, 重 ^{*1}	直流分電盤	S, 重 ^{*1}	バイタル分電盤	S	中性子モニタ用分電盤	S, 重 ^{*1}	緊急用計装交流主母線盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急用無停電計装分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	非常用無停電計装分電盤 ^{*2}	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	計測用変圧器	S		計測用変圧器	原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器	S	緊急用計測用変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	<p>表 3.14-1(2/2) 評価対象機器一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 60%;">機器名称</th> <th style="width: 20%;">耐震重要度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MG セット</td> <td>原子炉保護系 MG セット</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">無停電電源装置</td> <td>バイタル電源用無停電電源装置</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>緊急用無停電電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用無停電電源装置^{*2}</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用無停電電源装置^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">直流電源設備</td> <td>125 V 蓄電池 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 蓄電池 HPCS</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 125 V 蓄電池^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用蓄電池^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>±24 V 蓄電池 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用 24 V 系蓄電池</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 2A</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 予備</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>125 V 充電器盤 HPCS</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用 125 V 充電器盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用充電器盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>±24 V 充電器盤 2A, 2B</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用直流 24 V 充電器盤</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td rowspan="11">計測用分電盤</td> <td>交流計測用分電盤 A 系, B 系</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>交流計測用分電盤 HPCS 系</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>直流分電盤</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>バイタル分電盤</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>中性子モニタ用分電盤</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用計装交流主母線盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用直流分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急用無停電計装分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>非常用無停電計装分電盤^{*2}</td> <td>S, 重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td>緊急時対策用直流分電盤^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed red;">可搬型代替低圧電源車接続盤^{*2}</td> <td style="border: 1px dashed red;">重^{*1}</td> <td style="border: 1px dashed red;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px dashed red;">可搬型代替直流電源設備用電源切替盤^{*2}</td> <td style="border: 1px dashed red;">重^{*1}</td> <td style="border: 1px dashed red;"></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計測用変圧器</td> <td>計測用変圧器</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>緊急用計測用変圧器^{*2}</td> <td>重^{*1}</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">*1: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す *2: 新規に設置される機器</p>	種類	機器名称	耐震重要度	MG セット	原子炉保護系 MG セット	S	無停電電源装置	バイタル電源用無停電電源装置	S	緊急用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	非常用無停電電源装置 ^{*2}	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}	直流電源設備	125 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	125 V 蓄電池 HPCS	S, 重 ^{*1}	緊急用 125 V 蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}	±24 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用 24 V 系蓄電池	重 ^{*1}	125 V 充電器盤 2A	S, 重 ^{*1}	125 V 充電器盤 2B	S, 重 ^{*1}	125 V 充電器盤 予備	重 ^{*1}	125 V 充電器盤 HPCS	S, 重 ^{*1}	緊急用 125 V 充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}	±24 V 充電器盤 2A, 2B	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用直流 24 V 充電器盤	重 ^{*1}	計測用分電盤	交流計測用分電盤 A 系, B 系	S	交流計測用分電盤 HPCS 系	S, 重 ^{*1}	直流分電盤	S, 重 ^{*1}	バイタル分電盤	S	中性子モニタ用分電盤	S, 重 ^{*1}	緊急用計装交流主母線盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急用無停電計装分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	非常用無停電計装分電盤 ^{*2}	S, 重 ^{*1}	緊急時対策用分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	緊急時対策用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}	可搬型代替低圧電源車接続盤 ^{*2}	重 ^{*1}		可搬型代替直流電源設備用電源切替盤 ^{*2}	重 ^{*1}		計測用変圧器	計測用変圧器	S	原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器	S	緊急用計測用変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}	<p>②評価対象機器の追加 常設重大事故等対処設備が追加となったため、 評価対象機器として追加し、耐震重要度を記載</p>
種類	機器名称	耐震重要度																																																																																																																																																											
MG セット	原子炉保護系 MG セット	S																																																																																																																																																											
無停電電源装置	バイタル電源用無停電電源装置	S																																																																																																																																																											
	緊急用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	非常用無停電電源装置 ^{*2}	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
直流電源設備	125 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 蓄電池 HPCS	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用 125 V 蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	±24 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用 24 V 系蓄電池	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 2A	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 予備	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 HPCS	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用 125 V 充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	±24 V 充電器盤 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用直流 24 V 充電器盤	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
計測用分電盤	交流計測用分電盤 A 系, B 系	S																																																																																																																																																											
	交流計測用分電盤 HPCS 系	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	直流分電盤	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	バイタル分電盤	S																																																																																																																																																											
	中性子モニタ用分電盤	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用計装交流主母線盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用無停電計装分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	非常用無停電計装分電盤 ^{*2}	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
計測用変圧器	S																																																																																																																																																												
計測用変圧器	原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器	S																																																																																																																																																											
	緊急用計測用変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	種類	機器名称	耐震重要度																																																																																																																																																										
MG セット	原子炉保護系 MG セット	S																																																																																																																																																											
無停電電源装置	バイタル電源用無停電電源装置	S																																																																																																																																																											
	緊急用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	非常用無停電電源装置 ^{*2}	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用無停電電源装置 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
直流電源設備	125 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 蓄電池 HPCS	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用 125 V 蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用蓄電池 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	±24 V 蓄電池 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用 24 V 系蓄電池	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 2A	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 予備	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	125 V 充電器盤 HPCS	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用 125 V 充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用充電器盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	±24 V 充電器盤 2A, 2B	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用直流 24 V 充電器盤	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
計測用分電盤	交流計測用分電盤 A 系, B 系	S																																																																																																																																																											
	交流計測用分電盤 HPCS 系	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	直流分電盤	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	バイタル分電盤	S																																																																																																																																																											
	中性子モニタ用分電盤	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用計装交流主母線盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急用無停電計装分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	非常用無停電計装分電盤 ^{*2}	S, 重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
	緊急時対策用直流分電盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											
可搬型代替低圧電源車接続盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																												
可搬型代替直流電源設備用電源切替盤 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																												
計測用変圧器	計測用変圧器	S																																																																																																																																																											
	原子炉保護系 MG セットバイパス変圧器	S																																																																																																																																																											
	緊急用計測用変圧器 ^{*2}	重 ^{*1}																																																																																																																																																											

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.14.2-1 高圧閉鎖配電盤の代表機器

電圧区分	分類基準		機器名称	仕様		選定基準		耐震重要度	「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器	備考
	型式(内蔵遮断器)	設置場所		盤(定格電圧)	遮断器(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{#1}	使用条件(定格電圧 定格電流)				
高圧			非常用 M/C	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	MS-L, 重 ^{#2}	AC 6,900 V	2,000 A	○	○	
			常設代替高圧電源装置遮断器	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 8 kA	重 ^{#2}	AC 6,600 V	400 A			
		屋内	緊急用 M/C ^{#4}	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A			
			緊急時対策所用 M/C ^{#4}	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A			

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更後

表 3.14.2-1 高圧閉鎖配電盤の代表機器

電圧区分	分類基準		機器名称	仕様		選定基準		耐震重要度	「技術評価」代表機器	耐震安全性評価代表機器	備考
	型式(内蔵遮断器)	設置場所		盤(定格電圧)	遮断器(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{#1}	使用条件(定格電圧 定格電流)				
高圧			非常用 M/C	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	MS-L, 重 ^{#2}	AC 6,900 V	2,000 A	○	○	
			原子炉再循環ポンプ遮断器	AC 6,900 V	AC 7,200 V × 63 kA	MS-3/PS-3, 重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A			
		屋内	原子炉再循環ポンプ低速度用電源装置遮断器	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 40 kA	PS-3, 重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A			
			常設代替高圧電源装置遮断器	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 8 kA	重 ^{#2}	AC 6,600 V	400 A			
		緊急用 M/C ^{#4}	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A				
		緊急時対策所用 M/C ^{#4}	AC 7,200 V	AC 7,200 V × 63 kA	重 ^{#2}	AC 6,900 V	1,200 A				

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 44
耐震安全性評価
電源設備

②評価対象機器の追加
クラス 3 設備が常設重大事故等対処設備となったため評価対象機器として追加し、仕様・選定基準・耐震重要度を記載

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.14.2-4 コントローラセンタの代表機器

分類基準	型式 (内蔵遮断器)	設置 場所	機器名称	仕様		選定基準		耐震 安全性 評価 代表 機器	備考		
				盤 (最高使用電圧)	配線用遮断器 遮断容量 (定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{#1}	使用条件 定格 電圧			母線 容量	耐震 重要度
低圧	配線用遮断器	屋内	480 V 非常用 MCC	AC 600 V	AC 600 V×10 kA AC 600 V×14 kA AC 600 V×15 kA AC 600 V×18 kA AC 600 V×25 kA AC 220 V×85 kA AC 220 V×100 kA	MS-1 重 ^{#2}	AC 480 V AC 480 V/210 V -105 V	800 A 600 A	○		
				AC 600 V	AC 600 V×50 kA	重 ^{#2}	AC 480 V	800 A 600 A	重 ^{#3}		
				AC 600 V	AC 690 V×6 kA AC 690 V×7.5 kA AC 690 V×20 kA AC 240 V×85 kA	重 ^{#2}	AC 480 V/210 V	1,200 A 800 A	重 ^{#3}		
				DC 250 V	DC 250 V×20 kA DC 250 V×40 kA	MS-1 重 ^{#2}	DC 125 V	600 A	S, 重 ^{#3}		
				DC 125 V	DC 125 V×40 kA	重 ^{#2}	DC 125 V	400 A	重 ^{#3}		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち, 最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構築物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更後

表 3.14.2-4 コントローラセンタの代表機器

分類基準	型式 (内蔵遮断器)	設置 場所	機器名称	仕様		選定基準		耐震 安全性 評価 代表 機器	備考		
				盤 (最高使用電圧)	配線用遮断器 遮断容量 (定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{#1}	使用条件 定格 電圧			母線 容量	耐震 重要度
低圧	配線用遮断器	屋内	480 V 非常用 MCC	AC 600 V	AC 600 V×10 kA AC 600 V×14 kA AC 600 V×15 kA AC 600 V×18 kA AC 600 V×25 kA AC 220 V×85 kA AC 220 V×100 kA	MS-1 重 ^{#2}	AC 480 V AC 480 V/210 V -105 V	800 A 600 A	○		
				AC 600 V	AC 600 V×50 kA	重 ^{#2}	AC 480 V	800 A	重 ^{#3}		
				AC 600 V	AC 690 V×6 kA AC 690 V×7.5 kA AC 690 V×20 kA AC 240 V×85 kA	重 ^{#2}	AC 480 V/210 V	1,200 A 800 A	重 ^{#3}		
				DC 250 V	DC 250 V×20 kA DC 250 V×40 kA	MS-1 重 ^{#2}	DC 125 V	600 A	S, 重 ^{#3}		
				DC 125 V	DC 125 V×40 kA	重 ^{#2}	DC 125 V	400 A	重 ^{#3}		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち, 最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構築物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 45
耐震安全性評価
電源設備

①仕様等の変更の反映
設計進捗による母線容
量の変更

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.14.2-9 計測用分電盤の代表機器

分類基準	設置場所	機器名称	仕様 (定格電圧)	選定基準			「技術 評価」 代表 機器	耐震 安全性 評価 代表 機器	備考
				重要度 ^{#1}	使用条件 定格電圧	盤面数			
低圧 配線用遮断器	屋内	交流計測用分電盤 A系, B系	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	4	S	○	
		交流計測用分電盤 HPCS系	AC 120 V	MS-1, 重 ^{#2}	AC 120 V	1	S, 重 ^{#3}		
		直流分電盤	DC 125 V	MS-1, 重 ^{#2}	DC 125 V	7	S, 重 ^{#3}		
		バイタル分電盤	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	2	S		
		中性子モニター用分電盤	DC 24 V	MS-1, 重 ^{#2}	DC 24 V	2	S, 重 ^{#3}		
		緊急用計装交流主母線盤 ^{#4}	AC 120/240 V	重 ^{#2}	AC 120/240 V	1	重 ^{#3}		
		緊急用直流分電盤 ^{#4}	DC 125 V	重 ^{#2}	DC 125 V	2	重 ^{#3}		
		緊急用無停電計装分電盤 ^{#4}	AC 120 V	重 ^{#2}	AC 120 V	1	重 ^{#3}		
		非常用無停電計装分電盤 ^{#4}	AC 120 V	MS-1, 重 ^{#2}	AC 120 V	2	S, 重 ^{#3}		
		緊急時対策所用分電盤 ^{#4}	AC 100 V	重 ^{#2}	AC 100 V	4	重 ^{#3}		
		緊急時対策所用直流分電盤 ^{#4}	DC 125 V	重 ^{#2}	DC 125 V	2	重 ^{#3}		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更後

表 3.14.2-9 計測用分電盤の代表機器

分類基準	設置場所	機器名称	仕様 (定格電圧)	選定基準			「技術 評価」 代表 機器	耐震 安全性 評価 代表 機器	備考
				重要度 ^{#1}	使用条件 定格電圧	盤面数			
低圧 配線用遮断器	屋内	交流計測用分電盤 A系, B系	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	4	S	○	
		交流計測用分電盤 HPCS系	AC 120 V	MS-1, 重 ^{#2}	AC 120 V	1	S, 重 ^{#3}		
		直流分電盤	DC 125 V	MS-1, 重 ^{#2}	DC 125 V	7	S, 重 ^{#3}		
		バイタル分電盤	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	2	S		
		中性子モニター用分電盤	DC 24 V	MS-1, 重 ^{#2}	DC 24 V	2	S, 重 ^{#3}		
		緊急用計装交流主母線盤 ^{#4}	AC 120/240 V	重 ^{#2}	AC 120/240 V	1	重 ^{#3}		
		緊急用直流分電盤 ^{#4}	DC 125 V	重 ^{#2}	DC 125 V	2	重 ^{#3}		
		緊急用無停電計装分電盤 ^{#4}	AC 120 V	重 ^{#2}	AC 120 V	1	重 ^{#3}		
		非常用無停電計装分電盤 ^{#4}	AC 120 V	MS-1, 重 ^{#2}	AC 120 V	2	S, 重 ^{#3}		
		緊急時対策所用分電盤 ^{#4}	AC 105 V	重 ^{#2}	AC 105 V	3	重 ^{#3}		
		緊急時対策所用直流分電盤 ^{#4}	DC 125 V	重 ^{#2}	DC 125 V	2	重 ^{#3}		
		可搬型代替低圧電源車接続分電盤 ^{#4}	AC 210/480V DC 125 V	重 ^{#2}	AC 210/480V DC 125 V	2	重 ^{#3}		
		可搬型代替直流電源設備用電源切替盤 ^{#4}	DC 125 V	重 ^{#2}	DC 125 V	1	重 ^{#3}		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 耐震重要度とは別に常設重大事故等対処設備の区分に応じた耐震設計が求められることを示す
- *4: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 46
耐震安全性評価
電源設備

①仕様等の変更の反映
設計進捗により緊急時
対策所用分電盤の定格
電圧と盤面数に変更と
なった

②評価対象機器の追加
常設重大事故等対処設
備が追加となったため、
評価対象機器として追
加し、仕様・選定基準・
耐震重要度を記載

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由																																																																																																										
<p>2. 耐津波安全性評価の進め方</p> <p>2.1 評価対象機器</p> <p>「技術評価」における評価対象機器・構造物のうち浸水防護施設を耐津波安全性評価の対象とする。</p> <p>東海第二で対象となる設備を表 2.1-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1-1 耐津波安全性評価対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備</th> <th>浸水防護施設</th> <th>区分</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物</td> <td>逆止弁</td> <td>浸水防護施設</td> <td>浸水防止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート 構造物</td> <td>防潮堤</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>緊急用海水ポンプピット</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">鉄骨構造物</td> <td>防潮堤</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>防潮扉</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>放水路ゲート</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>構内排水路逆流防止設備</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>貯留堰</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水防止蓋</td> <td>浸水防止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計測制御設備</td> <td rowspan="2">操作制御盤</td> <td>潮位監視盤</td> <td>浸水防止設備</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>津波・構内監視設備</td> <td>津波監視設備</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>計測装置</td> <td>取水ピット水位計測装置</td> <td>津波監視設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>潮位計測装置</td> <td>津波監視設備</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 基準津波の影響を受ける位置に設置されていないため、耐津波安全性評価対象外とする</p> <p>2.2 評価手順</p> <p>(1) 耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出</p> <p>a. 「技術評価」での検討結果の整理</p> <p>耐津波安全性評価にあたっては、「技術評価」における保全対策等に対する評価結果を取り入れることとする。</p> <p>「技術評価」においては、想定される経年劣化事象のうち、以下の経年劣化事象に該当するものについて、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象としている。</p> <p>① 想定した劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているもの（日常劣化管理事象で△）</p> <p>② 現在までの運転経験や使用条件から得られた材料試験データとの比較等により、今後も経年劣化の進展が考えられない、又は進展傾向が極めて小さいと考えられる経年劣化事象（日常劣化管理事象以外で▲）</p>	設備		浸水防護施設	区分	対象	コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物	逆止弁	浸水防護施設	浸水防止設備	○	コンクリート 構造物	防潮堤	津波防護施設	○	緊急用海水ポンプピット	津波防護施設	○	鉄骨構造物	防潮堤	津波防護施設	○	防潮扉	津波防護施設	○	放水路ゲート	津波防護施設	○	構内排水路逆流防止設備	津波防護施設	○	貯留堰	津波防護施設	○	浸水防止蓋	浸水防止設備	○	計測制御設備	操作制御盤	潮位監視盤	浸水防止設備	—*	津波・構内監視設備	津波監視設備	—*	計測装置	取水ピット水位計測装置	津波監視設備	○			潮位計測装置	津波監視設備	○	<p>2. 耐津波安全性評価の進め方</p> <p>2.1 評価対象機器</p> <p>「技術評価」における評価対象機器・構造物のうち浸水防護施設を耐津波安全性評価の対象とする。</p> <p>東海第二で対象となる設備を表 2.1-1 に示す。</p> <p style="text-align: center;">表 2.1-1 耐津波安全性評価対象設備</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">設備</th> <th>浸水防護施設</th> <th>区分</th> <th>対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物</td> <td>逆止弁</td> <td>浸水防護施設</td> <td>浸水防止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート 構造物</td> <td>防潮堤</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">鉄骨構造物</td> <td>防潮堤</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>防潮扉</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>放水路ゲート</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>構内排水路逆流防止設備</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>貯留堰</td> <td>津波防護施設</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浸水防止蓋</td> <td>浸水防止設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">計測制御設備</td> <td rowspan="2">操作制御盤</td> <td>潮位監視盤</td> <td>浸水防止設備</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>津波・構内監視設備</td> <td>津波監視設備</td> <td>—*</td> </tr> <tr> <td>計測装置</td> <td>取水ピット水位計測装置</td> <td>津波監視設備</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>潮位計測装置</td> <td>津波監視設備</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 基準津波の影響を受ける位置に設置されていないため、耐津波安全性評価対象外とする</p> <p>2.2 評価手順</p> <p>(1) 耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出</p> <p>a. 「技術評価」での検討結果の整理</p> <p>耐津波安全性評価にあたっては、「技術評価」における保全対策等に対する評価結果を取り入れることとする。</p> <p>「技術評価」においては、想定される経年劣化事象のうち、以下の経年劣化事象に該当するものについて、高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象としている。</p> <p>① 想定した劣化傾向と実際の劣化傾向の乖離が考え難い経年劣化事象であって、想定した劣化傾向等に基づき適切な保全活動を行っているもの（日常劣化管理事象で△）</p> <p>② 現在までの運転経験や使用条件から得られた材料試験データとの比較等により、今後も経年劣化の進展が考えられない、又は進展傾向が極めて小さいと考えられる経年劣化事象（日常劣化管理事象以外で▲）</p>	設備		浸水防護施設	区分	対象	コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物	逆止弁	浸水防護施設	浸水防止設備	○	コンクリート 構造物	防潮堤	津波防護施設	○	原子炉建屋	津波防護施設	○	鉄骨構造物	防潮堤	津波防護施設	○	防潮扉	津波防護施設	○	放水路ゲート	津波防護施設	○	構内排水路逆流防止設備	津波防護施設	○	貯留堰	津波防護施設	○	浸水防止蓋	浸水防止設備	○	計測制御設備	操作制御盤	潮位監視盤	浸水防止設備	—*	津波・構内監視設備	津波監視設備	—*	計測装置	取水ピット水位計測装置	津波監視設備	○			潮位計測装置	津波監視設備	○	<p>別紙 47 耐津波安全性評価</p> <p>③重要度の変更の反映 緊急用海水ポンプピットが浸水防護施設ではなくなり、原子炉建屋及び水密扉が浸水防護施設となったため反映</p>
設備		浸水防護施設	区分	対象																																																																																																								
コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物	逆止弁	浸水防護施設	浸水防止設備	○																																																																																																								
	コンクリート 構造物	防潮堤	津波防護施設	○																																																																																																								
		緊急用海水ポンプピット	津波防護施設	○																																																																																																								
	鉄骨構造物	防潮堤	津波防護施設	○																																																																																																								
		防潮扉	津波防護施設	○																																																																																																								
		放水路ゲート	津波防護施設	○																																																																																																								
		構内排水路逆流防止設備	津波防護施設	○																																																																																																								
		貯留堰	津波防護施設	○																																																																																																								
		浸水防止蓋	浸水防止設備	○																																																																																																								
	計測制御設備	操作制御盤	潮位監視盤	浸水防止設備	—*																																																																																																							
津波・構内監視設備			津波監視設備	—*																																																																																																								
計測装置		取水ピット水位計測装置	津波監視設備	○																																																																																																								
		潮位計測装置	津波監視設備	○																																																																																																								
設備		浸水防護施設	区分	対象																																																																																																								
コンクリート 構造物及び 鉄骨構造物	逆止弁	浸水防護施設	浸水防止設備	○																																																																																																								
	コンクリート 構造物	防潮堤	津波防護施設	○																																																																																																								
		原子炉建屋	津波防護施設	○																																																																																																								
	鉄骨構造物	防潮堤	津波防護施設	○																																																																																																								
		防潮扉	津波防護施設	○																																																																																																								
		放水路ゲート	津波防護施設	○																																																																																																								
		構内排水路逆流防止設備	津波防護施設	○																																																																																																								
		貯留堰	津波防護施設	○																																																																																																								
		浸水防止蓋	浸水防止設備	○																																																																																																								
	計測制御設備	操作制御盤	潮位監視盤	浸水防止設備	—*																																																																																																							
津波・構内監視設備			津波監視設備	—*																																																																																																								
計測装置		取水ピット水位計測装置	津波監視設備	○																																																																																																								
		潮位計測装置	津波監視設備	○																																																																																																								

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 2.2-2 高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象に対する耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果

機器分類	型式	経年劣化事象	耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果	
			事象区分	判断理由
弁	浸水防護施設	弁箱、弁体ガイド、基礎ボルトの腐食(孔食・隙間腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、弁箱、弁体ガイド、基礎ボルトについては、今後目視点検を行い腐食(孔食・隙間腐食)の有無を確認することで健全性を維持できると考え、仮に腐食(孔食・隙間腐食)が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
コンクリート構造物及び鉄骨構造物	防潮堤、防潮扉、放水路ゲート、構内排水路逆流防止設備、貯留堰、浸水防止蓋	鉄骨の腐食による強度低下	■	当該構造物は新たに設置されるが、鉄骨部については、今後目視点検を行い腐食の有無を確認することで健全性を維持できると考え、また、仮に腐食が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
計測制御設備	取水ピット水位計測装置	スリーブ、取付座、上部閉止板及び取付ボルト・ナットの腐食(全面腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、盗賊等の管理を行い機器の健全性を維持することから、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
計測制御設備	潮位計測装置	水位検出器、検出器ガイド、サブポート、ベースプレート、取付ボルト及び基礎ボルトの腐食(孔食・隙間腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、水位検出器については、今後目視点検を行い腐食(孔食・隙間腐食)の有無を確認することで健全性を維持できると考え、また、仮に腐食(孔食・隙間腐食)が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。

■：現在発生しているか又は将来にわたって起こることが否定できないが、機器・構造物の構造・強度上及び止水性上、影響が「軽微もしくは無視」できるもの

変更前

表 2.2-2 高経年化対策上着目すべき経年劣化事象ではない事象に対する耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果

機器分類	型式	経年劣化事象	耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象の抽出結果	
			事象区分	判断理由
弁	浸水防護施設	弁箱、弁体ガイド、基礎ボルトの腐食(孔食・隙間腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、弁箱、弁体ガイド、基礎ボルトについては、今後目視点検を行い腐食(孔食・隙間腐食)の有無を確認することで健全性を維持できると考え、また、仮に腐食(孔食・隙間腐食)が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
鉄骨構造物	防潮堤、防潮扉、放水路ゲート、構内排水路逆流防止設備、貯留堰、浸水防止蓋、水密扉	鉄骨の腐食による強度低下	■	水密扉については、目視点検を行い腐食の有無を確認することで健全性を維持している。その他の構造物は新たに設置されるが、鉄骨部については、今後目視点検を行い腐食の有無を確認することで健全性を維持できると考え、また、仮に腐食が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
計測制御設備	取水ピット水位計測装置	スリーブ、取付座、上部閉止板及び取付ボルト・ナットの腐食(全面腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、盗賊等の管理を行い機器の健全性を維持することから、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。
計測制御設備	潮位計測装置	水位検出器、検出器ガイド、サブポート、ベースプレート、取付ボルト及び基礎ボルトの腐食(孔食・隙間腐食)	■	当該機器は新たに設置されるが、水位検出器については、今後目視点検を行い腐食(孔食・隙間腐食)の有無を確認することで健全性を維持できると考え、また、仮に腐食(孔食・隙間腐食)が発生しても、今後の現状保全によって管理される程度の範囲の影響は軽微であることから、耐津波安全性に影響を与えるものではない。

■：現在発生しているか又は将来にわたって起こることが否定できないが、機器・構造物の構造・強度上及び止水性上、影響が「軽微もしくは無視」できるもの

変更後

別紙 48
耐津波安全性評価

③重要度の変更の反映
水密扉が浸水防護施設
となったため評価を追加した

機器分類の記載の適正化

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由
<p>3. 耐津波安全性評価</p> <p>3.1 評価対象機器</p> <p>(1) 弁</p> <p>(逆止弁)</p> <p>① 浸水防護施設</p> <p>(2) コンクリート構造物及び鉄骨構造物</p> <p>(コンクリート構造物)</p> <p>① 防潮堤</p> <p>② 緊急用海水ポンプピット</p> <p>(鉄骨構造物)</p> <p>③ 防潮堤</p> <p>④ 防潮扉</p> <p>⑤ 放水路ゲート</p> <p>⑥ 構内排水路逆流防止設備</p> <p>⑦ 貯留堰</p> <p>⑧ 浸水防止蓋</p> <p>(3) 計測制御設備</p> <p>(計測装置)</p> <p>① 取水ピット水位計測装置</p> <p>② 潮位計測装置</p> <p>3.2 耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象</p> <p>(1) 「技術評価」での検討結果の整理</p> <p>3.1項で選定した浸水防護施設について、「技術評価」での経年劣化事象に対する検討結果に基づき、保全対策を踏まえた耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象を以下のとおり整理した(表3.2-1)。</p> <p>① 現在発生しておらず、今後も発生の可能性がないもの、又は小さいもの (表中×)</p> <p>② 現在発生しているか、又は将来にわたって起こることが否定できないもの (表中○)</p>	<p>3. 耐津波安全性評価</p> <p>3.1 評価対象機器</p> <p>(1) 弁</p> <p>(逆止弁)</p> <p>① 浸水防護施設</p> <p>(2) コンクリート構造物及び鉄骨構造物</p> <p>(コンクリート構造物)</p> <p>① 防潮堤</p> <p>② 原子炉建屋</p> <p>(鉄骨構造物)</p> <p>③ 防潮堤</p> <p>④ 防潮扉</p> <p>⑤ 放水路ゲート</p> <p>⑥ 構内排水路逆流防止設備</p> <p>⑦ 貯留堰</p> <p>⑧ 浸水防止蓋</p> <p>⑨ 水密扉</p> <p>(3) 計測制御設備</p> <p>(計測装置)</p> <p>① 取水ピット水位計測装置</p> <p>② 潮位計測装置</p> <p>3.2 耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象</p> <p>(1) 「技術評価」での検討結果の整理</p> <p>3.1項で選定した浸水防護施設について、「技術評価」での経年劣化事象に対する検討結果に基づき、保全対策を踏まえた耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象を以下のとおり整理した(表3.2-1)。</p> <p>① 現在発生しておらず、今後も発生の可能性がないもの、又は小さいもの (表中×)</p> <p>② 現在発生しているか、又は将来にわたって起こることが否定できないもの (表中○)</p>	<p>別紙 49 耐津波安全性評価</p> <p>③重要度の変更の反映 緊急用海水ポンプピットが浸水防護施設ではなくなり、原子炉建屋及び水密扉が浸水防護施設となったため反映した</p>

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 3.2-1 (2/3) コンクリート構造物及び鉄骨構造物に想定される経年劣化事象

経年劣化事象	対象構造物										「技術評価」評価結果概要 ^{#1}
	コンクリート構造物 ^{#2}		鉄骨構造物 ^{#3}						鉄骨構造物 ^{#3}		
	防潮堤	緊急用海水ポンプピット	防潮堤	防潮扉	放水路ゲート	構内排水路逆流防止設備	貯留堰	浸水防止蓋			
熱による強度低下 放射線照射による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	運転開始60年時点で想定される中性化深さは、鉄筋が腐食し始めるときは中性化深さと比較して十分小さいと想定される。
コンクリートの強度低下	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	運転開始60年時点で想定される鉄筋腐食減量は、かぶりコンクリートにひび割れが生じるとされる鉄筋腐食減量と比較して十分小さいと想定される。
コンクリートの遮へい能力低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

×：現在発生しておらず、今後も発生の可能性がないもの、又は小さいもの

-：評価対象とする構造物ではないもの

*1：「×」としたものの理由を記載

*2：コンクリート構造物の対象構造物は、使用条件等が含まれる代表構造物（取水構造物）において評価した結果を用いる

*3：鉄骨構造物の対象構造物は、使用条件等が含まれる代表構造物（原子炉建屋の鉄骨部及びタービン建屋の鉄骨部）において評価した結果を用いる

変更後

表 3.2-1 (2/3) コンクリート構造物及び鉄骨構造物に想定される経年劣化事象

経年劣化事象	対象構造物										「技術評価」評価結果概要 ^{#1}
	コンクリート構造物 ^{#2}		鉄骨構造物 ^{#3}						鉄骨構造物 ^{#3}		
	防潮堤	原子炉建屋	防潮堤	防潮扉	放水路ゲート	構内排水路逆流防止設備	貯留堰	浸水防止蓋	水密扉		
熱による強度低下 放射線照射による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	運転開始60年時点で想定される中性化深さは、鉄筋が腐食し始めるときは中性化深さと比較して十分小さいと想定される。
コンクリートの強度低下	×	×	-	-	-	-	-	-	-	-	運転開始60年時点で想定される鉄筋腐食減量は、かぶりコンクリートにひび割れが生じるとされる鉄筋腐食減量と比較して十分小さいと想定される。
コンクリートの遮へい能力低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

×：現在発生しておらず、今後も発生の可能性がないもの、又は小さいもの

-：評価対象とする構造物ではないもの

*1：「×」としたものの理由を記載

*2：コンクリート構造物の対象構造物は、使用条件等が含まれる代表構造物（取水構造物）において評価した結果を用いる

*3：鉄骨構造物の対象構造物は、使用条件等が含まれる代表構造物（原子炉建屋の鉄骨部及びタービン建屋の鉄骨部）において評価した結果を用いる

変更理由

別紙 50
耐津波安全性評価

③重要度の変更の反映
緊急用海水ポンプピットが浸水防護施設ではなくなり、原子炉建屋及び水密扉が浸水防護施設となったため反映した

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.2-2 (2/3) コンクリート構造物及び鉄骨構造物の耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象一覧

経年劣化事象	対象構造物									
	コンクリート構造物		鉄骨構造物							
	防潮堤	緊急用海水ポンプピット	防潮堤	防潮扉	放水路ゲート	構内排水路逆流防止設備	貯留堰	浸水防止蓋		
熱による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放射線照射による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中性化による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩分浸透による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機械振動による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱による遮へい能力低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一：経年劣化事象が想定されないもの及び今後発生の可能性がないもの、又は小さいもの

変更後

表 3.2-2 (2/3) コンクリート構造物及び鉄骨構造物の耐津波安全上考慮する必要がある経年劣化事象一覧

経年劣化事象	対象構造物									
	コンクリート構造物		鉄骨構造物							
	防潮堤	原子炉建屋	防潮堤	防潮扉	放水路ゲート	構内排水路逆流防止設備	貯留堰	浸水防止蓋	水密扉	
熱による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放射線照射による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中性化による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩分浸透による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
機械振動による強度低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熱による遮へい能力低下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

一：経年劣化事象が想定されないもの及び今後発生の可能性がないもの、又は小さいもの

変更理由

別紙 51
耐津波安全性評価

③重要度の変更の反映
緊急用海水ポンプピットが浸水防護施設ではなくなり、原子炉建屋及び水密扉が浸水防護施設となったため反映した

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 3.1.1-1(2/2) ターボポンプの主な仕様

分類基準		ポンプ名称	仕様 (容量×揚程)	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由	
型式	内部流体			材料 ⁷⁾	重要度 ¹⁾	運転 状態				使用条件 最高使用 圧力 (MPa) ²⁾
横軸 速心	純水	低合金鋼	タービン駆動原子炉給水ポンプ	4,315 m ³ /h×685.8 m	高 ⁴⁾	連続	15.51	233	◎	重要度
			高圧復水ポンプ	3,792 m ³ /h×365.8 m	高 ⁴⁾	連続	6.14	205		
			原子炉隔離時冷却系ポンプ	142 m ³ /h×869 m	MS-1, 重 ⁵⁾	一時	10.35	77	◎	
			電動機駆動原子炉給水ポンプ	2,157.5 m ³ /h×762 m	高 ⁴⁾	一時	15.51	233		
			高圧炉心スプレイ系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×38.1 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			低圧炉心スプレイ系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×38.1 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			残留熱除去系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×48.8 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			原子炉隔離時冷却系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×48.8 m	高 ⁴⁾	連続	0.86	77		
			常設低圧代替注水ポンプ ⁶⁾	200 m ³ /h ³⁾ ×200 m ³⁾	重 ⁵⁾	一時	3.14	66		
			代替燃料プール冷却系ポンプ ⁶⁾	124 m ³ /h×40 m	重 ⁵⁾	一時	0.98	80		
代替循環冷却系ポンプ ⁶⁾	250 m ³ /h×120 m	重 ⁵⁾	一時	3.45	77					

*1：当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*2：ポンプ吐出配管の仕様を示す

*3：公称値を示す

*4：最高使用温度が95℃を超え、又は最高使用圧力が1,900 kPaを超える環境下にある原子炉格納容器外の重要度クラス3の機器

*5：重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す

*6：新規に設置される機器及び構造物であることを示す

*7：ケーシングの材料を示す

変更前

変更後

表 3.1.1-1(2/2) ターボポンプの主な仕様

分類基準		ポンプ名称	仕様 (容量×揚程)	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由	
型式	内部流体			材料 ⁷⁾	重要度 ¹⁾	運転 状態				使用条件 最高使用 圧力 (MPa) ²⁾
横軸 速心	純水	低合金鋼	タービン駆動原子炉給水ポンプ	4,315 m ³ /h×685.8 m	高 ⁴⁾	連続	15.51	233	◎	重要度
			高圧復水ポンプ	3,792 m ³ /h×365.8 m	高 ⁴⁾	連続	6.14	205		
			原子炉隔離時冷却系ポンプ	142 m ³ /h×869 m	MS-1, 重 ⁵⁾	一時	10.35	77	◎	
			電動機駆動原子炉給水ポンプ	2,157.5 m ³ /h×762 m	高 ⁴⁾	一時	15.51	233		
			高圧炉心スプレイ系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×38.1 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			低圧炉心スプレイ系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×38.1 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			残留熱除去系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×48.8 m	高 ⁴⁾	連続	1.04	100	○ (連続)	
			原子炉隔離時冷却系レグシールポンプ	4.54 m ³ /h×48.8 m	高 ⁴⁾	連続	0.86	77		
			常設低圧代替注水ポンプ ⁶⁾	200 m ³ /h ³⁾ ×200 m ³⁾	重 ⁵⁾	一時	3.14	66		
			代替燃料プール冷却系ポンプ ⁶⁾	124 m ³ /h×40 m	重 ⁵⁾	一時	0.98	80		
代替循環冷却系ポンプ ⁶⁾	250 m ³ /h×120 m	重 ⁵⁾	一時	3.45	80					

*1：当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*2：ポンプ吐出配管の仕様を示す

*3：公称値を示す

*4：最高使用温度が95℃を超え、又は最高使用圧力が1,900 kPaを超える環境下にある原子炉格納容器外の重要度クラス3の機器

*5：重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す

*6：新規に設置される機器及び構造物であることを示す

*7：ケーシングの材料を示す

変更理由

別紙 52
冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
ポンプ

①仕様等の変更の反映
設計進捗による最高使用温度の変更

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 3.2.1-1 U 字管式熱交換器の主な仕様

型式	分類基準		機器名称	容量 (熱交換量)	重要度 ^{*1}	運転 状態	選定基準				冷温停止状態維持に必要な機器 (運転状態)	選定	
	内部流体						使用条件		最高使用圧力 (MPa)	脚側			脚側
	管側	伝熱管 材料					管側	最高使用温度 (°C)					
U 字 管 式	純水	ステン レス鋼	原子炉冷却材浄化系 再生熱交換器	25.7 MW	PS-2	連続	管側	302	302	9.80	9.80	○ (連続)	◎
	純水	ステン レス鋼	原子炉冷却材浄化系 非再生熱交換器	8.84 MW	PS-2	連続	管側	302	188	9.80	0.86	○ (連続)	◎
	蒸気	ステン レス鋼	グラウンド蒸気 蒸発器	13.1 t/h [※]	高 ^{※4}	連続	管側	233	233	1.04	1.04	-	◎
	純水	ステン レス鋼	給水加熱器	117 MW~ 43.0 MW	高 ^{※4}	連続	管側	233~ 205	235~ 149	12.93~ 6.14	2.97~ 0.35	-	◎
	海水	銅合金	残留熱除去系 熱交換器	53.0 MW	NS-1 重 ^{※5}	一時	管側	249	249	3.45	3.45	○ (連続)	◎
	排ガス	ステン レス鋼	排ガス予熱器	0.122 MW	PS-2	連続	管側	205	205	2.42	1.03	-	◎
	冷却水 ^{※2}	ステン レス鋼	排ガス復水器	4.86 MW	PS-2	連続	管側	538	538	0.86	2.42	-	◎
	蒸気	ステン レス鋼	蒸発ガス貯蔵設備 蒸発器	6.800 Nm ³ /h ^{※3}	高 ^{※4}	一時	管側	100	100	1.81	大気圧	-	◎

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*2: 冷却水 (防錆剤入り純水)

*3: 蒸発能力を示す

*4: 最高使用温度が 95 °C を超え、又は最高使用圧力が 1,900 kPa を超える環境下にある原子炉格納容器外の重要度クラス 3 の機器

*5: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す

変更後

表 3.2.1-1 U 字管式熱交換器の主な仕様

型式	分類基準		機器名称	容量 (熱交換量)	重要度 ^{*1}	運転 状態	選定基準				冷温停止状態維持に必要な機器 (運転状態)	選定	
	内部流体						使用条件		最高使用圧力 (MPa)	脚側			脚側
	管側	伝熱管 材料					管側	最高使用温度 (°C)					
U 字 管 式	純水	ステン レス鋼	原子炉冷却材浄化系 再生熱交換器	25.7 MW	PS-2	連続	管側	302	302	9.80	9.80	○ (連続)	◎
	純水	ステン レス鋼	原子炉冷却材浄化系 非再生熱交換器	8.84 MW	PS-2	連続	管側	302	188	9.80	0.86	○ (連続)	◎
	蒸気	ステン レス鋼	グラウンド蒸気 蒸発器	13.1 t/h [※]	高 ^{※4}	連続	管側	233	233	1.04	1.04	-	◎
	純水	ステン レス鋼	給水加熱器	117 MW~ 43.0 MW	高 ^{※4}	連続	管側	233~ 205	235~ 149	12.93~ 6.14	2.97~ 0.35	-	◎
	海水	銅合金	残留熱除去系 熱交換器	53.0 MW	NS-1 重 ^{※5}	一時	管側	249	249	3.45	3.45	○ (連続)	◎
	排ガス	ステン レス鋼	排ガス予熱器	0.122 MW	PS-2	連続	管側	205	205	2.42	1.03	-	◎
	冷却水 ^{※2}	ステン レス鋼	排ガス復水器	4.86 MW	PS-2	連続	管側	538	538	0.86	2.41	-	◎
	蒸気	ステン レス鋼	蒸発ガス貯蔵設備 蒸発器	6.800 Nm ³ /h ^{※3}	高 ^{※4}	一時	管側	100	100	1.81	大気圧	-	◎

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*2: 冷却水 (防錆剤入り純水)

*3: 蒸発能力を示す

*4: 最高使用温度が 95 °C を超え、又は最高使用圧力が 1,900 kPa を超える環境下にある原子炉格納容器外の重要度クラス 3 の機器

*5: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す

変更理由

別紙 53
冷温提示状態が維持されることを前提とした
評価
熱交換器

①仕様等の変更の反映
最高使用圧力の変更

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 3.3.2-1 低圧ポンプモータの主な仕様

分類基準	設置場所	機器名称	仕様 (定格出力 ×回転速度)	選定基準				冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由
				重要度 ^{#1}	定格 電圧 (V)	定格 出力 (kW)	運転 状態			
全閉	屋内	ほう酸水注入系ポンプモータ	37 kW×965 rpm	MS-1 重 ^{#2}	AC 440	37	一時	40.0 ^{#3}	◎	重要度 定格電圧
		ほう酸水注入系潤滑油ポンプモータ	0.4 kW×1,420 rpm	MS-1	AC 200	0.4	一時	40.0 ^{#3}		
		原子炉冷却材浄化系循環ポンプモータ	75 kW×2,930 rpm	PS-2	AC 440	75	連続	40.0 ^{#3}		
		常設低圧代替注水系ポンプモータ ^{#4}	190 kW×1,500 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	190	一時	40 ^{#6}		
		代替燃料プール冷却系ポンプモータ ^{#4}	22 kW×3,000 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	22	一時	40.0 ^{#3}		
		代替循環冷却系ポンプモータ ^{#4}	140 kW×1,500 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	140	一時	40.0 ^{#3}		
		格納容器圧力逃がし装置移送ポンプモータ ^{#4}	11 kW×3,000 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	11	一時	65.0 ^{#7}		
		非常用ディーゼル発電機冷却系海水ポンプモータ	55 kW×1,455 rpm	MS-1 重 ^{#2}	AC 440	55	一時	38.4 ^{#8}	◎	
		原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器保持ポンプモータ	3.7 kW×3,000 rpm	PS-2	AC 440	3.7	一時	40.0 ^{#3}	◎	

#1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 #2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す *3: 原子炉建屋における設計値
 #4: 新規に設置される機器 *5: 同期回転速度を示す *6: 常設低圧代替注水系格納槽における設計値
 #7: 格納容器圧力逃がし装置格納槽における設計値 *8: 茨城県水戸市における最高温度

変更後

表 3.3.2-1 低圧ポンプモータの主な仕様

分類基準	設置場所	機器名称	仕様 (定格出力 ×回転速度)	選定基準				冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由
				重要度 ^{#1}	定格 電圧 (V)	定格 出力 (kW)	運転 状態			
全閉	屋内	ほう酸水注入系ポンプモータ	37 kW×965 rpm	MS-1 重 ^{#2}	AC 440	37	一時	40.0 ^{#3}	◎	重要度 定格電圧
		ほう酸水注入系潤滑油ポンプモータ	0.4 kW×1,420 rpm	MS-1	AC 200	0.4	一時	40.0 ^{#3}		
		原子炉冷却材浄化系循環ポンプモータ	75 kW×2,930 rpm	PS-2	AC 440	75	連続	40.0 ^{#3}		
		常設低圧代替注水系ポンプモータ ^{#4}	190 kW×1,500 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	190	一時	40 ^{#6}		
		代替燃料プール冷却系ポンプモータ ^{#4}	30 kW×3,000 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	30	一時	40.0 ^{#3}		
		代替循環冷却系ポンプモータ ^{#4}	140 kW×1,500 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	140	一時	40.0 ^{#3}		
		格納容器圧力逃がし装置移送ポンプモータ ^{#4}	11 kW×3,000 rpm ^{#5}	重 ^{#2}	AC 440	11	一時	65.0 ^{#7}		
		非常用ディーゼル発電機冷却系海水ポンプモータ	55 kW×1,455 rpm	MS-1 重 ^{#2}	AC 440	55	一時	38.4 ^{#8}	◎	
		原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器保持ポンプモータ	3.7 kW×3,000 rpm	PS-2	AC 440	3.7	一時	40.0 ^{#3}	◎	

#1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 #2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す *3: 原子炉建屋における設計値
 #4: 新規に設置される機器 *5: 同期回転速度を示す *6: 常設低圧代替注水系格納槽における設計値
 #7: 格納容器圧力逃がし装置格納槽における設計値 *8: 茨城県水戸市における最高温度

変更理由

別紙 54
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 ポンプモータ

①仕様等の変更の反映
 設計進捗による定格出力の変更

同上

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.5.1-1 (1/2) ステンレス鋼配管系の主な仕様

分類基準	内部流体	当該系統	選定基準				冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
			主な仕様 口径/肉厚(mm)	重要度 ^{#1}	運転状態	使用条件 最高使用 圧力(MPa)			
ステンレス鋼	純水	原子炉隔離時冷却系	150A/11.0	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	一時	8.62	302	○ (一時)	重要度 運転状態 最高使用温度 最高使用圧力
		原子炉再循環系	630 mm/40.0	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	連続	11.38	302	○ (連続)	
		ほう酸水注入系	40A/5.1	MS-1, 重 ^{#2}	一時	9.66	302	○ (一時)	
		不活性ガス系	25A/3.9	MS-1	一時	0.31	171	○ (一時)	
		原子炉系	20A/3.9	MS-1	連続	8.62	302	○ (連続)	
		原子炉冷却材浄化系	150A/11.0	PS-1/MS-1	連続	8.62	302	○ (連続)	
		残留熱除去系	300A/25.4	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	一時	10.69	302	○ (連続)	
		純水補給水系	50A/3.9	MS-1	一時	1.32	66	○ (一時)	
		制御棒駆動系	33.4 mm/4.5	MS-1, 重 ^{#2}	連続	12.06	66	○ (連続)	
		補助系	80A/7.6	MS-1	連続	0.52	105	○ (連続)	
		燃料プールの冷却浄化系	250A/9.3	MS-2, 重 ^{#2}	連続	1.38	66	○ (連続)	
		事故時サンプリング設備	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		高圧炉心スプレイス	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		低圧炉心スプレイス	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		原子炉保護系	25A/4.5	MS-1	一時	8.62	138	○ (一時)	
重大事故等対処設備 ^{#3}	50A/3.9	重 ^{#2}	一時	2.5	200	—			

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更後

表 3.5.1-1 (1/2) ステンレス鋼配管系の主な仕様

分類基準	内部流体	当該系統	選定基準				冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
			主な仕様 口径/肉厚(mm)	重要度 ^{#1}	運転状態	使用条件 最高使用 圧力(MPa)			
ステンレス鋼	純水	原子炉隔離時冷却系	150A/11.0	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	一時	8.62	302	○ (一時)	重要度 運転状態 最高使用温度 最高使用圧力
		原子炉再循環系	630 mm/40.0	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	連続	11.38	302	○ (連続)	
		ほう酸水注入系	40A/5.1	MS-1, 重 ^{#2}	一時	9.66	302	○ (一時)	
		不活性ガス系	25A/3.9	MS-1	一時	0.31	171	○ (一時)	
		原子炉系	20A/3.9	MS-1	連続	8.62	302	○ (連続)	
		原子炉冷却材浄化系	150A/11.0	PS-1/MS-1	連続	8.62	302	○ (連続)	
		残留熱除去系	300A/25.4	PS-1/MS-1, 重 ^{#2}	一時	10.69	302	○ (連続)	
		純水補給水系	50A/3.9	MS-1	一時	1.32	66	○ (一時)	
		制御棒駆動系	33.4 mm/4.5	MS-1, 重 ^{#2}	連続	12.06	66	○ (連続)	
		補助系	80A/7.6	MS-1, 重 ^{#2}	連続	0.52	105	○ (連続)	
		燃料プールの冷却浄化系	250A/9.3	MS-2, 重 ^{#2}	連続	1.38	66	○ (連続)	
		事故時サンプリング設備	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		高圧炉心スプレイス	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		低圧炉心スプレイス	20A/3.9	MS-1	一時	8.62	302	○ (一時)	
		原子炉保護系	25A/4.5	MS-1	一時	8.62	138	○ (一時)	
重大事故等対処設備 ^{#3}	50A/3.9	重 ^{#2}	一時	2.5	200	—			

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 55
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 配管

③重要度の変更の反映
 補助系配管の一部が常設重大事故等対処設備となったため反映

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

表 3.6.13-1(1/2) 電動弁用駆動部の主な仕様

分類基準	設置場所	当該系統	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	代表機器/選定理由
			重要度 ^{#1}	定格出力 (kW)	使用条件 周囲温度 (℃)			
交流	原子炉格納容器内	原子炉系	MS-1/PS-1	1.1	65.6	○ (連続)	残留熱除去系シャットダウン ライン隔離弁 (内側) 駆動部/ 重要度、定格出力	
		原子炉再循環系	PS-1	4.7, 5.2	65.6	○ (連続)		
		残留熱除去系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	0.12~16.4	65.6	○ (連続)		
		原子炉隔離時冷却系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	7.8	65.6	○ (連続)		
		原子炉冷却材浄化系	MS-1/PS-1	0.72~2.7	65.6	○ (連続)		
		原子炉系	MS-1	0.28~11	60.0	○ (連続)		
		原子炉冷却材浄化系	PS-2	0.28~1.8	40.0	○ (連続)		
		ほう酸水注入系	MS-1, 重 ^{#2}	0.28	40.0	○ (一時)		
		残留熱除去系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	0.094~16	40.0, 60.0	○ (連続)		
		残留熱除去系	MS-1, 重 ^{#2}	0.12~11	40.0	○ (連続)		
	原子炉格納容器外	高圧炉心スプレイ系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	1.8~16	40.0	○ (一時)	残留熱除去系注入弁駆動部/ 重要度、定格出力、周囲温度	
		低圧炉心スプレイ系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	1.1~16	40.0	○ (一時)		
		可燃性ガス濃度制御系	MS-1	0.094~0.5	40.0	○ (一時)		
		主蒸気隔離弁漏えい抑制系	MS-1/PS-1	0.37, 0.72	60.0	○ (連続)		
		原子炉補機冷却系	MS-1	0.72, 1.1	40.0	○ (連続)		
		燃料プールの始動浄化系	重 ^{#2}	1.1, 2	40.0	-		
		制御用圧縮空気系	MS-1	0.28	40.0	○ (連続)		
		不活性ガス系	MS-1, 重 ^{#2}	0.58	40.0	-		
		格納容器雰囲気監視系	MS-1	0.12	40.0	-		
		事故時サンプリング設備	MS-1	0.12	40.0	-		
中央制御室換気系	MS-1	0.69, 1.3	40.0	○ (連続)				
ドライウエル冷却系	MS-1	0.37	40.0	-				
空気抽出系	MS-2	1.1	40.0	-				
気体廃棄物処理系	MS-2	0.72	40.0	-				
重大事故等対処設備 ^{#3}	MS-1, 重 ^{#2}	0.12~3.7	40.0	-				

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される系統

変更後

表 3.6.13-1(1/2) 電動弁用駆動部の主な仕様

分類基準	設置場所	当該系統	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	代表機器/選定理由
			重要度 ^{#1}	定格出力 (kW)	使用条件 周囲温度 (℃)			
交流	原子炉格納容器内	原子炉系	MS-1/PS-1	1.1	65.6	○ (連続)	残留熱除去系シャットダウン ライン隔離弁 (内側) 駆動部/ 重要度、定格出力	
		原子炉再循環系	PS-1	4.7, 5.2	65.6	○ (連続)		
		残留熱除去系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	0.12~16.4	65.6	○ (連続)		
		原子炉隔離時冷却系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	7.8	65.6	○ (連続)		
		原子炉冷却材浄化系	MS-1/PS-1	0.72~2.7	65.6	○ (連続)		
		原子炉系	MS-1	0.28~11	60.0	○ (連続)		
		原子炉冷却材浄化系	PS-2	0.28~1.8	40.0	○ (連続)		
		ほう酸水注入系	MS-1, 重 ^{#2}	0.28	40.0	○ (一時)		
		残留熱除去系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	0.094~16	40.0, 60.0	○ (連続)		
		残留熱除去系	MS-1, 重 ^{#2}	0.12~11	40.0	○ (連続)		
	原子炉格納容器外	高圧炉心スプレイ系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	1.8~16	40.0	○ (一時)	残留熱除去系注入弁駆動部/ 重要度、定格出力、周囲温度	
		低圧炉心スプレイ系	MS-1/PS-1, 重 ^{#2}	1.1~16	40.0	○ (一時)		
		可燃性ガス濃度制御系	MS-1	0.094~0.5	40.0	○ (一時)		
		主蒸気隔離弁漏えい抑制系	MS-1/PS-1	0.37, 0.72	60.0	○ (連続)		
		原子炉補機冷却系	MS-1	0.72, 1.1	40.0	○ (連続)		
		燃料プールの始動浄化系	重 ^{#2}	1.1, 2	40.0	-		
		制御用圧縮空気系	MS-1	0.28	40.0	○ (連続)		
		不活性ガス系	MS-1, 重 ^{#2}	0.58	40.0	-		
		格納容器雰囲気監視系	MS-1	0.12	40.0	-		
		事故時サンプリング設備	MS-1	0.12	40.0	-		
中央制御室換気系	MS-1, 重 ^{#2}	0.69, 1.3	40.0	○ (連続)				
ドライウエル冷却系	MS-1	0.37	40.0	-				
空気抽出系	MS-2	1.1	40.0	-				
気体廃棄物処理系	MS-2	0.72	40.0	-				
重大事故等対処設備 ^{#3}	MS-1, 重 ^{#2}	0.12~3.7	40.0	-				

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される系統

変更理由

別紙 56
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 弁

③重要度の変更の反映
 中央制御室換気系の一部が常設重大事故等対処設備となったため反映

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前	変更後	変更理由																																																																
<p>3.7 炉内構造物</p> <p>(1) 対象機器</p> <p>東海第二で使用されている炉内構造物の主な仕様を表 3.7-1 に示す。 冷温停止状態維持評価に必要な機器のうち、「東海第二発電所 劣化状況評価書 (断続的運転)」において対象機器とした以下の機器を、冷温停止状態の維持を前提とした評価においても同様に対象機器とした。</p> <p>① 炉内構造物</p> <p style="text-align: center;">表 3.7-1 炉内構造物の主な仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">重要度^{*1}</th> <th colspan="2">使用条件</th> <th rowspan="2">冷温停止状態維持に必要な機器</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力^{*2} (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>炉心シュラウド</td><td>PS-1 <u> </u></td><td rowspan="13" style="text-align: center;">8.62</td><td rowspan="13" style="text-align: center;">302</td><td rowspan="13" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>シュラウドサポート</td><td>PS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>上部格子板</td><td>PS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>炉心支持板</td><td>PS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>燃料支持金具 (中央, 周辺)</td><td>PS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>制御棒案内管</td><td>PS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>炉心スプレイ配管・スパージャ</td><td>MS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>差圧検出・ほう酸水注入管</td><td>MS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>ジェットポンプ</td><td>MS-1 <u> </u></td></tr> <tr><td>中性子計測案内管</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>残留熱除去系 (低圧注水系) 配管</td><td>MS-1 <u> </u></td></tr> </tbody> </table> <p>*1: 当該機器に要求される重要度のクラスのうち、最上位の重要度クラスを示す *2: 環境の最高使用圧力を示す</p> <div style="border: 1px dashed red; width: 200px; height: 20px; margin: 10px auto;"></div>	機器名称	重要度 ^{*1}	使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器	最高使用圧力 ^{*2} (MPa)	最高使用温度 (°C)	炉心シュラウド	PS-1 <u> </u>	8.62	302	○	シュラウドサポート	PS-1 <u> </u>	上部格子板	PS-1 <u> </u>	炉心支持板	PS-1 <u> </u>	燃料支持金具 (中央, 周辺)	PS-1 <u> </u>	制御棒案内管	PS-1 <u> </u>	炉心スプレイ配管・スパージャ	MS-1 <u> </u>	差圧検出・ほう酸水注入管	MS-1 <u> </u>	ジェットポンプ	MS-1 <u> </u>	中性子計測案内管	MS-1	残留熱除去系 (低圧注水系) 配管	MS-1 <u> </u>	<p>3.7 炉内構造物</p> <p>(1) 対象機器</p> <p>東海第二で使用されている炉内構造物の主な仕様を表 3.7-1 に示す。 冷温停止状態維持評価に必要な機器のうち、「東海第二発電所 劣化状況評価書 (断続的運転)」において対象機器とした以下の機器を、冷温停止状態の維持を前提とした評価においても同様に対象機器とした。</p> <p>① 炉内構造物</p> <p style="text-align: center;">表 3.7-1 炉内構造物の主な仕様</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">重要度^{*1}</th> <th colspan="2">使用条件</th> <th rowspan="2">冷温停止状態維持に必要な機器</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力^{*2} (MPa)</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>炉心シュラウド</td><td>PS-1, 重^{*3}</td><td rowspan="13" style="text-align: center;">8.62</td><td rowspan="13" style="text-align: center;">302</td><td rowspan="13" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>シュラウドサポート</td><td>PS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>上部格子板</td><td>PS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>炉心支持板</td><td>PS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>燃料支持金具 (中央, 周辺)</td><td>PS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>制御棒案内管</td><td>PS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>炉心スプレイ配管・スパージャ</td><td>MS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>差圧検出・ほう酸水注入管</td><td>MS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>ジェットポンプ</td><td>MS-1, 重^{*3}</td></tr> <tr><td>中性子計測案内管</td><td>MS-1</td></tr> <tr><td>残留熱除去系 (低圧注水系) 配管</td><td>MS-1, 重^{*3}</td></tr> </tbody> </table> <p>*1: 当該機器に要求される重要度のクラスのうち、最上位の重要度クラスを示す *2: 環境の最高使用圧力を示す *3: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す</p>	機器名称	重要度 ^{*1}	使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器	最高使用圧力 ^{*2} (MPa)	最高使用温度 (°C)	炉心シュラウド	PS-1, 重 ^{*3}	8.62	302	○	シュラウドサポート	PS-1, 重 ^{*3}	上部格子板	PS-1, 重 ^{*3}	炉心支持板	PS-1, 重 ^{*3}	燃料支持金具 (中央, 周辺)	PS-1, 重 ^{*3}	制御棒案内管	PS-1, 重 ^{*3}	炉心スプレイ配管・スパージャ	MS-1, 重 ^{*3}	差圧検出・ほう酸水注入管	MS-1, 重 ^{*3}	ジェットポンプ	MS-1, 重 ^{*3}	中性子計測案内管	MS-1	残留熱除去系 (低圧注水系) 配管	MS-1, 重 ^{*3}	<p>別紙 57 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価 炉内構造物</p> <p style="margin-top: 200px;">③重要度の変更の反映 炉内構造物の一部が常設重大事故等対処設備となったため反映し、注記を追加</p>
機器名称			重要度 ^{*1}	使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器																																																												
	最高使用圧力 ^{*2} (MPa)	最高使用温度 (°C)																																																																
炉心シュラウド	PS-1 <u> </u>	8.62	302	○																																																														
シュラウドサポート	PS-1 <u> </u>																																																																	
上部格子板	PS-1 <u> </u>																																																																	
炉心支持板	PS-1 <u> </u>																																																																	
燃料支持金具 (中央, 周辺)	PS-1 <u> </u>																																																																	
制御棒案内管	PS-1 <u> </u>																																																																	
炉心スプレイ配管・スパージャ	MS-1 <u> </u>																																																																	
差圧検出・ほう酸水注入管	MS-1 <u> </u>																																																																	
ジェットポンプ	MS-1 <u> </u>																																																																	
中性子計測案内管	MS-1																																																																	
残留熱除去系 (低圧注水系) 配管	MS-1 <u> </u>																																																																	
機器名称	重要度 ^{*1}				使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器																																																											
					最高使用圧力 ^{*2} (MPa)	最高使用温度 (°C)																																																												
炉心シュラウド	PS-1, 重 ^{*3}	8.62	302	○																																																														
シュラウドサポート	PS-1, 重 ^{*3}																																																																	
上部格子板	PS-1, 重 ^{*3}																																																																	
炉心支持板	PS-1, 重 ^{*3}																																																																	
燃料支持金具 (中央, 周辺)	PS-1, 重 ^{*3}																																																																	
制御棒案内管	PS-1, 重 ^{*3}																																																																	
炉心スプレイ配管・スパージャ	MS-1, 重 ^{*3}																																																																	
差圧検出・ほう酸水注入管	MS-1, 重 ^{*3}																																																																	
ジェットポンプ	MS-1, 重 ^{*3}																																																																	
中性子計測案内管	MS-1																																																																	
残留熱除去系 (低圧注水系) 配管	MS-1, 重 ^{*3}																																																																	

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3-10-1 コングリート構造物及び鉄骨構造物の主な仕様 (2/2)

対象構造物 (鉄骨構造物)	重要度 ^{#1}	運転開始後 経過年数	使用条件等			使用材料	選定	選定理由
			設置環境					
			屋内	屋外				
① 原子炉建屋 (廃棄物処理棟及び貯蔵物処理 建屋含む) (鉄骨部)	MS-1, 重 ^{#2}	39	仕上り有り	/	炭素鋼	◎	運転開始後経過年数	
② タービン建屋 (鉄骨部)	MS-1	39	仕上り有り	/	炭素鋼	◎	運転開始後経過年数	
③ 使用済燃料乾式貯蔵施設 (鉄骨部)	FS-2	16	仕上り有り	/	炭素鋼			
④ 防廊壁	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑤ 防廊扉	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑥ 放水路ゲート	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑦ 構内排水逆流防止設備	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	ステンレス鋼			
⑧ 貯留庫	設 ^{#3} , 重 ^{#2}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑨ 浸水防止蓋	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼, ステンレス鋼			
⑩ 水密扉	重 ^{#2}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			

*1: 設備を支持するものであり、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物を示す
 *3: 設計基準対象施設として評価対象とした機器及び構造物を示す

変更後

表 3-10-1 コングリート構造物及び鉄骨構造物の主な仕様 (2/2)

対象構造物 (鉄骨構造物)	重要度 ^{#1}	運転開始後 経過年数	使用条件等			使用材料	選定	選定理由
			設置環境					
			屋内	屋外				
① 原子炉建屋 (廃棄物処理棟及び貯蔵物処理 建屋含む) (鉄骨部)	MS-1, 重 ^{#2}	39	仕上り有り	/	炭素鋼	◎	運転開始後経過年数	
② タービン建屋 (鉄骨部)	MS-1	39	仕上り有り	/	炭素鋼	◎	運転開始後経過年数	
③ 使用済燃料乾式貯蔵施設 (鉄骨部)	FS-2	16	仕上り有り	/	炭素鋼			
④ 防廊壁	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑤ 防廊扉	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑥ 放水路ゲート	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑦ 構内排水逆流防止設備	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	ステンレス鋼			
⑧ 貯留庫	設 ^{#3} , 重 ^{#2}	0	/	仕上り有り	炭素鋼			
⑨ 浸水防止蓋	設 ^{#3}	0	/	仕上り有り	炭素鋼, ステンレス鋼			
⑩ 水密扉	重 ^{#2}	0	/	仕上り有り	炭素鋼, ステンレス鋼			

*1: 設備を支持するものであり、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物を示す
 *3: 設計基準対象施設として評価対象とした機器及び構造物を示す

変更理由

①仕様等の変更の反映
 水密扉の材質にステン
 レス鋼が追加されたた
 め反映

③重要度の変更の反映
 水密扉が常設重大事故
 等対処設備から浸水防
 護施設となったため反
 映

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.12.6-1(2/2) ダンパ及び弁の主な仕様

分類基準 型式	機器名称	選定基準			冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	代表ダンパ及び弁	選定理由
		仕様 流量 ^{#1} (m ³ /h)	重要度 ^{#2}	使用条件 運転状態				
バタフライ 弁	原子炉建屋換気系隔離弁	231,200	MS-1	連続	○ (連続)	◎	原子炉建屋換気系 C/S 隔離弁	
	中央制御室換気系隔離弁	3,400	MS-1	連続	○ (連続)	◎	中央制御室換気系隔離 弁	重要度 運転状態
		34,800 ^{#4}	MS-1	一時	○ (一時)			

◎：代表機器

*1：流量が異なる機器がある場合は、流量の最大ものを示す

*2：当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*3：新規に設置される機器

変更後

表 3.12.6-1(2/2) ダンパ及び弁の主な仕様

分類基準 型式	機器名称	選定基準			冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	代表ダンパ及び弁	選定理由
		仕様 流量 ^{#1} (m ³ /h)	重要度 ^{#2}	使用条件 運転状態				
バタフライ 弁	原子炉建屋換気系隔離弁	231,200	MS-1	連続	○ (連続)	◎	原子炉建屋換気系C/S隔離弁	
	中央制御室換気系隔離弁	3,400	MS-1, 重 ^{#3}	連続	○ (連続)	◎	中央制御室換気系隔離弁	重要度 運転状態
		34,800 ^{#4}	MS-1, 重 ^{#3}	一時	○ (一時)			

◎：代表機器

*1：流量が異なる機器がある場合は、流量の最大ものを示す

*2：当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す

*3：重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す

*4：新規に設置される機器

変更理由

別紙 59
冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
空調設備

③重要度の変更の反映
中央制御室換気系隔離弁の一部が常設重大事故等対処設備となったため反映し、注記を追加

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.13.4.2-1 ディーゼル機関付属設備の主な仕様

機器名称	重要度 ^{*1}	使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)			
非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	○ (一時)	◎	ディーゼル機関本体の選定機器に合わせる
	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70			
	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80			
	MS-1, 重 ^{*2}	海水 0.70	海水 50			
高圧炉心スプレイス系ディーゼル機関付属設備	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60	○ (一時)		
	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45			
	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70			
	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80			
緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*3}	MS-1, 重 ^{*2}	海水 0.70	海水 50	○ (一時)		
	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	60			
常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*3}	重 ^{*2}	0.5	45	-		
	重 ^{*2}	1.0	60			
補機駆動用燃料設備 ^{*3*4}	重 ^{*2}	静水頭 ^{*5}	60 ^{*5}	-		

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器を含む
 *4: 可搬型重大事故等対処設備 (ディーゼル機関を含む) に可搬型の機器を用いて軽油を供給する設備
 *5: 可搬型設備用軽油タンクの仕様を示す

変更後

表 3.13.4.2-1 ディーゼル機関付属設備の主な仕様

機器名称	重要度 ^{*1}	使用条件		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
		最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)			
非常用ディーゼル機関 (2C, 2D 号機) 付属設備	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45	○ (一時)	◎	ディーゼル機関本体の選定機器に合わせる
	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70			
	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80			
	MS-1, 重 ^{*2}	海水 0.70	海水 50			
高圧炉心スプレイス系ディーゼル機関付属設備	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55	○ (一時)		
	MS-1, 重 ^{*2}	3.2	45			
	MS-1, 重 ^{*2}	0.78	70			
	MS-1, 重 ^{*2}	純水 0.25	純水 80			
緊急時対策所用発電機ディーゼル機関付属設備 ^{*3}	MS-1, 重 ^{*2}	海水 0.70	海水 50	○ (一時)		
	MS-1, 重 ^{*2}	1.0	55			
常設代替高圧電源装置 (ディーゼル機関) 付属設備 ^{*3}	重 ^{*2}	0.5	45	-		
	重 ^{*2}	1.0	55			
補機駆動用燃料設備 ^{*3*4}	重 ^{*2}	静水頭 ^{*5}	60 ^{*5}	-		

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器を含む
 *4: 可搬型重大事故等対処設備 (ディーゼル機関を含む) に可搬型の機器を用いて軽油を供給する設備
 *5: 可搬型設備用軽油タンクの仕様を示す

変更理由

別紙 60
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 機械設備

①仕様等の変更の反映
 設計進捗による最高使用温度の変更

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.14.1-1 高圧閉鎖配電盤の主な仕様

分類基準		機器名称	仕様			選定基準		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
電圧区分	型式(内蔵遮断器)		設置場所	盤(定格電圧)	遮断器(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{*1}	使用条件(定格電圧 定格電流)			
高圧	真空遮断器	非常用 M/C	屋内	AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	MS-1 重 ^{*2}	AC 6,900 V 2,000 A 1,200 A	◎	重要度	
		常設代替高圧電源装置遮断器盤		AC 7,200 V	AC 7,200 V×8 kA	重 ^{*2}	AC 6,600 V 400 A			
		緊急用 M/C ^{*3}		AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A			
		緊急時対策所用 M/C ^{*3}		AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A			

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更後

表 3.14.1-1 高圧閉鎖配電盤の主な仕様

分類基準		機器名称	仕様			選定基準		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
電圧区分	型式(内蔵遮断器)		設置場所	盤(定格電圧)	遮断器(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{*1}	使用条件(定格電圧 定格電流)			
高圧	真空遮断器	非常用 M/C	屋内	AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	MS-1 重 ^{*2}	AC 6,900 V 2,000 A 1,200 A	◎	重要度	
		原子炉再循環ポンプ遮断器		AC 6,900 V	AC 7,200 V×63 kA	MS-3 重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A			
		原子炉再循環ポンプ低速度用電源装置遮断器		AC 7,200 V	AC 7,200 V×40 kA	PS-3 重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A			
		常設代替高圧電源装置遮断器盤		AC 7,200 V	AC 7,200 V×8 kA	重 ^{*2}	AC 6,600 V 400 A			
		緊急用 M/C ^{*3}	AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A				
		緊急時対策所用 M/C ^{*3}	AC 7,200 V	AC 7,200 V×63 kA	重 ^{*2}	AC 6,900 V 1,200 A				

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 61
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 電源設備

②評価対象機器の追加
 クラス 3 設備が常設重大事故等対処設備となったため評価対象機器として追加し、仕様・選定基準を記載

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表 3.14.4-1 コントロールセンターの主な仕様

分類基準	仕様		機器名称	最高使用電圧	選定基準		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
	型式(内蔵遮断器)	設置場所			重要度 ^{*1}	使用条件			
電圧区分	配線用遮断器	母線容量	電圧	遮断容量(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{*1}	定格電圧	母線容量		
低圧	配線用遮断器	屋内	480V非常用MCC	AC 600 V	MS-1重 ^{*2}	AC 480 V	800 A	◎	重要度 定格電圧
				AC 600 V	重 ^{*2}	AC 480 V	800 A		
				AC 600 V	重 ^{*2}	AC 480 V/210 V	1,200 A		
				DC 250 V	MS-1重 ^{*2}	DC 125 V	600 A		
				DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	400 A		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 新規に設置される機器

変更後

表 3.14.4-1 コントロールセンターの主な仕様

分類基準	仕様		機器名称	最高使用電圧	選定基準		冷温停止状態維持に必要な機器(運転状態)	選定	選定理由
	型式(内蔵遮断器)	設置場所			重要度 ^{*1}	使用条件			
電圧区分	配線用遮断器	母線容量	電圧	遮断容量(定格電圧×定格遮断電流)	重要度 ^{*1}	定格電圧	母線容量		
低圧	配線用遮断器	屋内	480V非常用MCC	AC 600 V	MS-1重 ^{*2}	AC 480 V	800 A	◎	重要度 定格電圧
				AC 600 V	重 ^{*2}	AC 480 V	800 A		
				AC 600 V	重 ^{*2}	AC 480 V/210 V	1,200 A		
				DC 250 V	MS-1重 ^{*2}	DC 125 V	600 A		
				DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	400 A		

- *1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
- *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
- *3: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 62
冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
電源設備

①仕様等の変更の反映
設計進捗による母線容量の変更

東海第二発電所 劣化状況評価書 新旧対照表

変更前

表3.14.9-1 計測用分電盤の主な仕様

電圧区分	分類基準		機器名称	仕様 (定格電圧)	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由
	型式	設置場所			重要度 ^{*1}	使用条件 定格電圧	盤面数			
低圧	配線用遮断器	屋内	交流計測用分電盤 A系, B系	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	4	○ (連続)	◎	重要度 定格電圧 盤面数
			交流計測用分電盤 HPCS系	AC 120 V	MS-1 重 ^{*2}	AC 120 V	1	○ (連続)		
			直流分電盤	DC 125 V	MS-1 重 ^{*2}	DC 125 V	7	○ (連続)		
			バイタル分電盤	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	2	○ (連続)		
			中性子モニタ用分電盤	DC 24 V	MS-1 重 ^{*2}	DC 24 V	2	○ (連続)		
			緊急用計装交流主母線盤 ^{*3}	AC 120/240 V	重 ^{*2}	AC 120/240 V	1	—		
			緊急用直流分電盤 ^{*3}	DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	2	—		
			緊急用無停電計装分電盤 ^{*3}	AC 120 V	重 ^{*2}	AC 120 V	1	—		
			非常用無停電計装分電盤 ^{*3}	AC 120 V	MS-1 重 ^{*2}	AC 120 V	2	○ (連続)		
			緊急時対策所用分電盤 ^{*3}	AC 100 V	重 ^{*2}	AC 100 V	4	—		
			緊急時対策所用直流分電盤 ^{*3}	DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	2	—		

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更後

表3.14.9-1 計測用分電盤の主な仕様

電圧区分	分類基準		機器名称	仕様 (定格電圧)	選定基準			冷温停止 状態維持に 必要な機器 (運転状態)	選定	選定理由
	型式	設置場所			重要度 ^{*1}	使用条件 定格電圧	盤面数			
低圧	配線用遮断器	屋内	交流計測用分電盤 A系, B系	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	4	○ (連続)	◎	重要度 定格電圧 盤面数
			交流計測用分電盤 HPCS系	AC 120 V	MS-1 重 ^{*2}	AC 120 V	1	○ (連続)		
			直流分電盤	DC 125 V	MS-1 重 ^{*2}	DC 125 V	7	○ (連続)		
			バイタル分電盤	AC 120/240 V	MS-1	AC 120/240 V	2	○ (連続)		
			中性子モニタ用分電盤	DC 24 V	MS-1 重 ^{*2}	DC 24 V	2	○ (連続)		
			緊急用計装交流主母線盤 ^{*3}	AC 120/240 V	重 ^{*2}	AC 120/240 V	1	—		
			緊急用直流分電盤 ^{*3}	DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	2	—		
			緊急用無停電計装分電盤 ^{*3}	AC 120 V	重 ^{*2}	AC 120 V	1	—		
			非常用無停電計装分電盤 ^{*3}	AC 120 V	MS-1 重 ^{*2}	AC 120 V	2	○ (連続)		
			緊急時対策所用分電盤 ^{*3}	AC 105 V	重 ^{*2}	AC 105 V	3	—		
			緊急時対策所用直流分電盤 ^{*3}	DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	2	—		
			可搬型代替低圧電源車接続盤 ^{*3}	AC 210/480V DC 125 V	重 ^{*2}	AC 210/480V DC 125 V	2	—		
可搬型代替直流電源設備用電源切替盤 ^{*3}	DC 125 V	重 ^{*2}	DC 125 V	1	—					

*1: 当該機器に要求される重要度クラスのうち、最上位の重要度クラスを示す
 *2: 重要度クラスとは別に常設重大事故等対処設備に属する機器及び構造物であることを示す
 *3: 新規に設置される機器

変更理由

別紙 63
 冷温提示状態が維持されることを前提とした評価
 電源設備

①仕様等の変更の反映
 設計進捗により定格電圧と盤面数に変更

②評価対象機器の追加
 常設重大事故等対処設備が追加となったため、
 評価対象機器として追加し、仕様・選定基準を記載